



今日はレッススが
長引いて遅く
なっちゃったね

お疲れ様でしたー
お先に失礼しまーす



同じく
我那覇響

765プロ所属
現役アイドル
天海春香

あの二人
だな



手早く
済ますぞ

ウス

ウツス

ウス



よこー
乗せろ



残念だが
そのアイドル人生も
ここ迄だ

悪く思うなよ...

Chlorof

アホ...



うん…

こっ…
は…?

確か私…
響ちゃんと
事務所を出て…



あつ!
春香っ

お香ちゃん…

気が付いた?
一緒にアイツ等に
言ってるさー!!



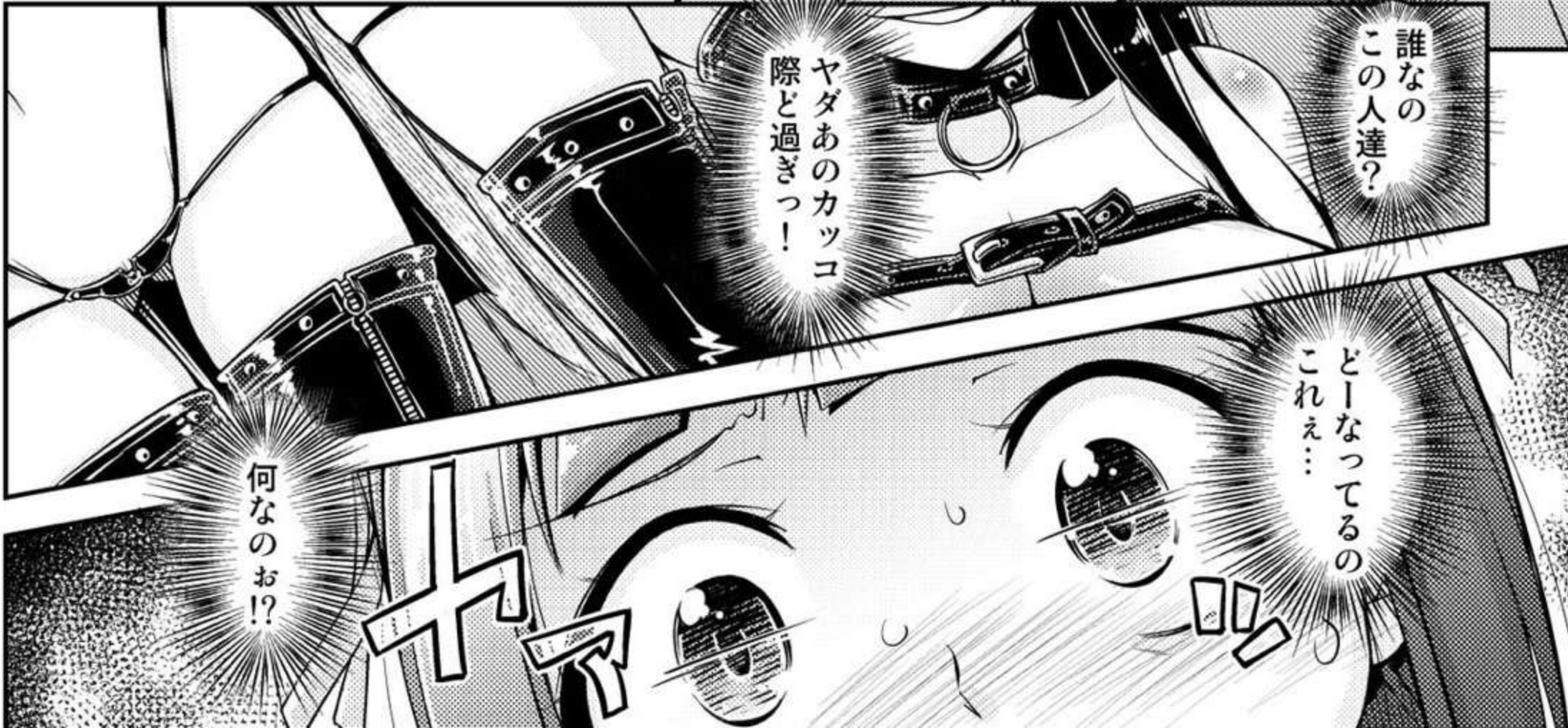
え… ナミコ… 服が

え?
ええーっ!?

な何で私こんな…
やだっ!
きゃあああっ!?



早く自分達を
解放しろーっ!!!



誰なの
この人達?

ヤダあのカッコ
際ど過ぎっ!

どーなってるの
これえ…

何なのお!?

ア



あ 貴方達は
一体？

それにここ…
ここって何処ですか？
私達に何する気なんです
かア——っっ!?

私達は
くすぐり調教師

貴方達二人はこれから
くすぐり奴隷として
生きるの…一生ね

そうだそうだ！
自分達をどうする気
だあ——っ!!!



く…くすぐり!?!
な 何言ってる…

馬鹿なこと
言ってるので
コレ外せ——っ!!

ふふふ
いい反応ね…

じっくりゆ〜っくり
くすぐりの虜にして
あげるから覚悟なさい!



貴方達

スッ



先ずは
腋の下からね



そそうだ!
自分達に何かあったら
プロデューサーが
黙ってないぞっ!

うふふ
元気があって
いいわあ



アラ
それは楽しみね♪

やめて下さい
私...そのくすぐりには
とっても弱くて!



その元気
いつまで持つ
かしら?



スタート♪

パキッ

ニヤニヤ

それじゃ
用意...





その娘達の指
細くてとっても
くすぐったいでしょう?

どう?!

って
それどころじゃ
無いみたいねw

わきわきいい!!
腋の下ばかり
だめえええ!!



おっ!おっ!おっ!
 やめるおっ!おっ!
 あーっおっ!おっ!

うで腕下ろさせてえええええ
 腋の下守らせてええええ...



ふふふ...
 まだまだ先は長いわよ?



もうやだあ！
お家帰らせてえ！

ほんとにっもっ
おかしくなっ
ちやうっっ！！

うひひっ
やめるわっ
ひやはは！





目の前が
バチバチするっ

もっ...
もうダメエ



調教
三日目

あしいやめッ
やめてくれええうへへへ！
ひいいいっあーっほっほっほ
足は！足の裏だけは
本当に弱いんだあッ
ひゃはははは！
おかしくなめッッッッッッッッッ!!!

お尻の裏で
アツアツ

うふふ 足の指一本
動かせない状態で
責められるのって
たまらないでしょう？









アッ
アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ
アッ

意識が
遠のくのに

くすぐられて
引き戻されるっ

息が…
できない!



頭の中が
真っ白になって...

何も考え
られないっ!!



おっかしくなるっ
!!

あっ!!

あっ!!





アラアラ
失神しちゃった
みたいね♪



え...?
春・香?



安心なさい
大切な商品を
壊したりしないわ...
出荷する迄はね

やだあ
助けて...
プロデューサーあ...



そうそう
調教は今日で
終わりよ

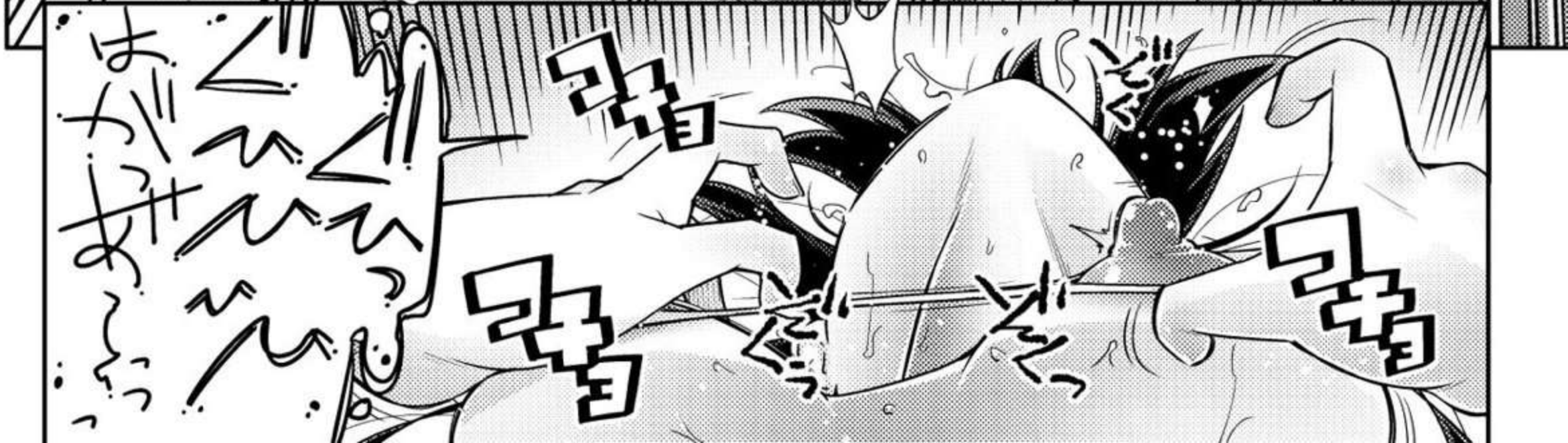
貴方達には
これから仕上がり
検査を兼ねた

うふふ♡
くすぐり奴隷として
最初の仕事をして
貰うわ



んな...

そ





やめっ。あはははっ
もっくすぐったっ
しぬうっ!!

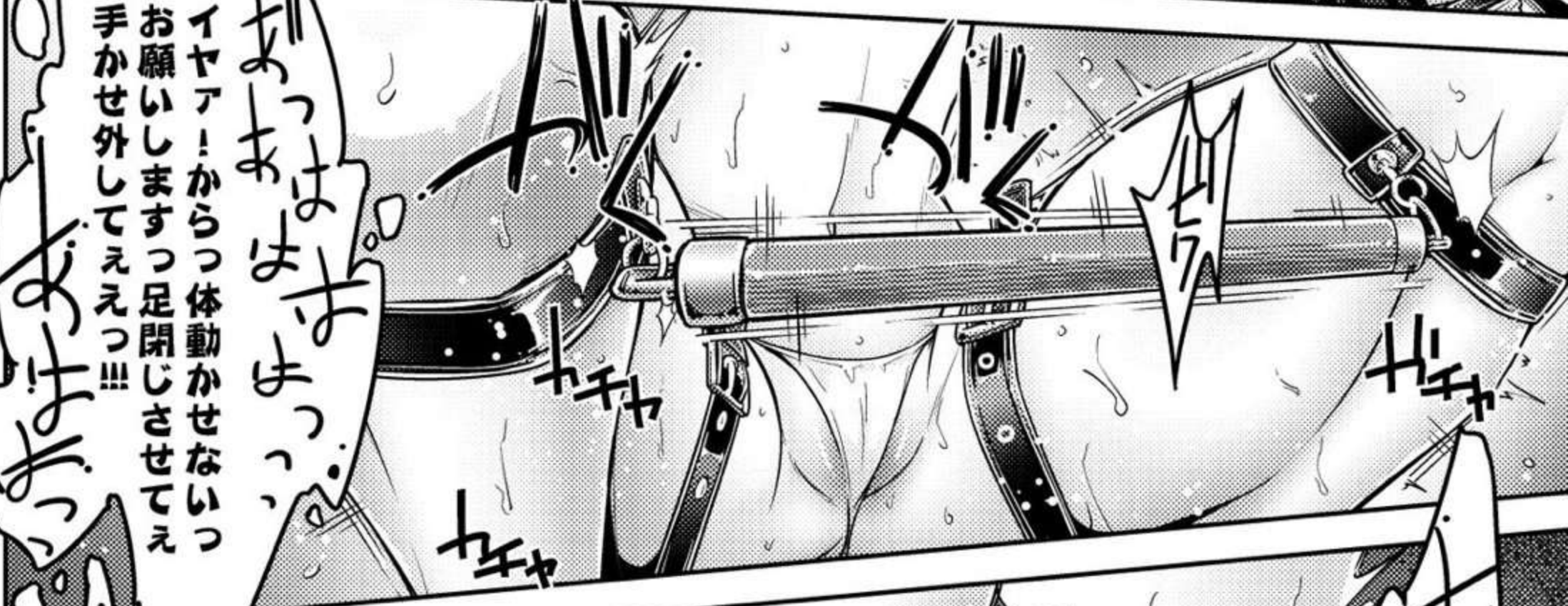


カキ

カキ

カキ

カキ



イヤア！からっ体動かさせないっ
お願いしますっ足閉じさせてえ
手かせ外してええっ!!!

カキ

カキ

カキ



カキ

カキ

カキ

カキ



判る？
貴方達の脳が
酸欠から来る脳内麻薬と

くすくす
くすくす
くすくすの刺激で
滅茶苦茶に
かき回されてるのが…

死の苦痛とも昇天の快樂とも
付かない刺激——
それがくすくすの快樂よ♥
ふふ…





くすぐり奴隷デビュー
おめでと♪

うふ♥
十分に仕上がった
みたいね



ってあれ？
これ…



ムフフ
特癖ソムリエの
拙者としては
嬉しい限りでござるよ

こう増えると
有難味が減る
気も…

最近増えたなあ
特癖モノ…



千ハ
千ハ
千ハ



オイオイ
この娘達 昔765プロに
居た娘じゃね？

えーと 所属アイドルが
全員引退して事務所畳んだ
所でござったかな？
流石に別人で
ござろう

だよなア…
でも滅茶似てて可愛いし
買っとくかア
実は俺 ファン
だったんだよねー

そして
彼女達はくすぐり奴隷としての人生を歩み始めるのであった…